

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第3部門第3区分
【発行日】平成17年6月16日(2005.6.16)

【公表番号】特表2001-508088(P2001-508088A)
【公表日】平成13年6月19日(2001.6.19)
【出願番号】特願平10-518017
【国際特許分類第7版】
C 0 8 G 65/10
【F I】
C 0 8 G 65/10

【手続補正書】
【提出日】平成16年10月13日(2004.10.13)
【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】補正の内容のとおり
【補正方法】変更
【補正の内容】

手続補正書

平成16年10月13日

特許庁長官殿



1. 事件の表示

平成10年特許願第518017号

2. 補正をする者

氏名(名称) バイエル・アントウエルペン・エヌ・ペー



3. 代理人

住所

〒540-0001
大阪府大阪市中央区城見1丁目3番7号 IMPビル
青山特許事務所
電話 06-6949-1261 FAX 06-6949-0361

氏名

弁理士 (6214) 青山 葆

式
査
審

4. 補正対象書類名 明細書および請求の範囲

5. 補正対象項目名 明細書および請求の範囲

6. 補正の内容

次の箇所を補正します。

I. 請求の範囲

別紙のとおり。

II. 明細書

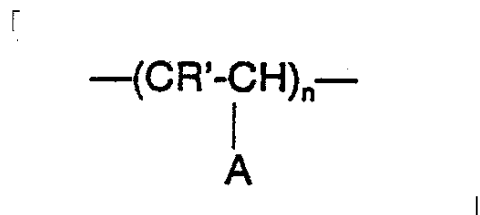
(1) 第1頁第18行、「有機錯生成剤、」とあるを「有機錯生成剤（錯化剤）、」と訂正。

(2) 第4頁第13行；同頁第16行；第5頁下から第1行（2箇所）；第6頁第1行；同頁第2行；同頁第3行、同頁第4行；同頁第5行；同頁第7行；第8頁第16行；第9頁第13行；第11頁第2行；同頁第5行；同頁第9行；同頁第14行；同頁第16行；同頁第17行および同頁第23行、「錯生成剤」とあるを「錯化剤」と訂正。

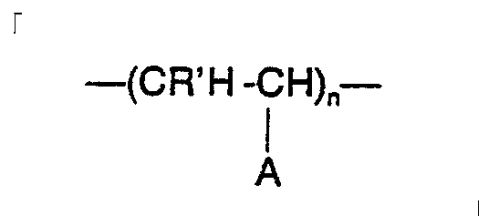
(3) 第4頁下から第2行～1行および第5頁第16行、「シアニド、オギザレート、」とあるを「シアナイド、オキサレート」と訂正。

(4) 第5頁第1行および同頁第17行、「ニトレート」とあるを「ナイトレート」と訂正。

(5) 第6頁第21行（式も1行と数えて）、



とあるを



と訂正。

(6) 第7頁下から第6行、「こうして、」とあるを削除。

(7) 第12頁第10行および同頁第12行、「教示されるような」とあるを
「教示されるように」と訂正。

以上

(別紙)

請 求 の 範 囲

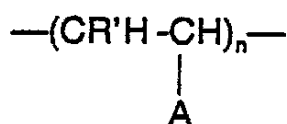
1. 粉末X線回折分析による実質的に非結晶性触媒であって

(a) 二重金属シアン化物、

(b) 有機錯化剤、及び

(c) 2乃至80wt%の官能化ポリマーよりなり、該官能化ポリマーは、

(i) 一般式



〔式中、R' は水素、—COOH又はC₁—C₅アルキル基、Aは—OH, —NH₂, —NHR, —NR₂, —SH, —SR, —COR, CN, —Cl, —Br, —C₆H₄—OH, —C₆H₄—C(CH₃)₂OH, —CONH₂, —CONHR, —CO—NR₂, —OR, —NO₂, —NHCOR, —NRCOR, —COOH, —COOR, —CHO, —OCOR, —COO—R—OH, —SO₃H, —CONH—R—SO₃H, ピリジニル、及びピロリドニルよりなる群から選ばれる1個以上の官能基であって、ここで、RはC₁—C₅アルキル又はアルキレン基であり、nは5乃至5000の範囲内の値を有する。〕で示されるポリマーであるか又は(ii) ポリエステル、ポリカーボネート、オキサゾリンポリマー、ポリアルキレンイミン、マレイン酸及び無水マレイン酸コポリマー、ヒドロキシエチルセルロース、デンプン及びポリアセタールよりなる群から選ばれるポリマーであるか、又は前記官能化ポリマーから誘導される水溶性塩である触媒。

2. nは10乃至5000の値を有する請求項1記載の触媒。

3. 二重金属シアン化物が亜鉛ヘキサシアノコバルテートよりなる請求項1記載の触媒。

4. 有機錯化剤が第3級ブチルアルコールよりなる請求項1記載の触媒。